

平成 20 年度 第 3 回 真田地域協議会 会議次第

平成 20 年 6 月 17 日（火） 午後 3 時

真田地域自治センター 301 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 真田地域自治センター長あいさつ

4 協議会委員の変更について（報告）

5 会議事項

(1) 真田地域自治センターの重点目標について

平成 19 年度の重点目標の取り組み結果

平成 20 年度の重点目標

(2) わがまち魅力アップ応援事業審査

個性あるふるさとづくり応援事業

・ダボスの丘 遊歩道整備事業 : 菅平区

特色あるまちづくり応援事業

・あずまや高原を憩いの広場に育てる事業 : らいてうの家 運営委員会

(3) 真田地域図書館施設整備について

(4) その他

6 その他

7 閉 会

真田地域自治センターの重点目標

【平成19年度重点目標】

重点目標 地域協議会によるまちづくりの推進			
具体的な重点取り組み項目（箇条書き）		達成状況	各部局の自己評価
1	地域まちづくり方針の具体化に向けた協議を進める 地域協議会の理解・定着を図るため、設置目的や役割等をPRする 地域要望の把握・集約に努め、施策への反映を図る 地域協議会の運営方法の確立を図る 地域協議会の任務・役割を理解いただき、目的意識の共有に努める	概ね当初の目的を達成することができた。	○
重点目標 魅力ある菅平高原の再構築			
具体的な重点取り組み項目（箇条書き）		達成状況	各部局の自己評価
2	(1)菅平高原自然館の改築に向けた基本計画の策定 菅平高原自然館運営協議会における改築のあり方の検討 付帯する機能について、地元意向の集約 改築のコンセプト、施設の概要・維持管理等について計画をまとめる (2)放送通信環境の調査 放送通信環境調査の実施 放送通信環境整備手法について、地域の意向調査を実施 民間通信事業者と具体的な協力体制についての検討	付帯する機能について地元意向の集約を進めたが、意向の集約及び基本計画の策定には至らなかった。	
重点目標 地域住民が安心できる河川整備計画の策定			
具体的な重点取り組み項目（箇条書き）		達成状況	各部局の自己評価
3	・準用河川：大沢川の改修計画の策定 河川全体の状況を調査し、未整備箇所の把握 未整備箇所について整備手法の検討 効果的な整備順位付けの検討 事業費の算出と事業年度計画の立案	全ての重点取り組み項目について、当初の目標を達成した。	○
重点目標 廃棄物（ゴミ・資源物等）の新たな処理方法へのスムーズな移行			
具体的な重点取り組み項目（箇条書き）		達成状況	各部局の自己評価
4	あらゆる機会を捉え、多くの住民を対象とした説明会の実施 説明会に併せ、分別の徹底を図り、ごみの資源化を推進 真田地域にあった職員用マニュアル、住民説明資料を作成 地域づくり委員会を活用して啓発活動の実施 有線放送を活用した啓発活動の実施	概ね当初の目的を達成することができた。	○
重点目標			
具体的な重点取り組み項目（箇条書き）		達成状況	各部局の自己評価
5			

総合評価基準 [: 目標を上回る] [: 目標達成] [: 一部目標未達成] [× : 全て目標未達成]

市長指示事項

【平成20年度重点目標】

重点目標 地域協議会の充実とわがまち魅力アップ応援事業の活用			
具体的な重点取り組み項目（箇条書き）		期限・数値目標等	
地域まちづくり方針の具現化に向けた協議 地域予算を活用した地域振興事業等の検討 地域内の行政情報の積極的な提供・説明 「地域自治センターだより」の計画的な発行 わがまち魅力アップ応援事業のPR及び活用の推進		具体的施策を意見書としてまとめる 来年度の予算編成に反映 随時 隔月の発行（年6回発行） 今年度中	
重点目標 地域情報通信基盤の整備（地域情報化の推進）			
具体的な重点取り組み項目（箇条書き）		期限・数値目標等	
(1)真田有線放送電話事業のあり方の検討 真田地区有線放送電話審議会の設置 審議会による有線放送電話事業のあり方の検討 有線加入者へのアンケート調査の実施 (2)菅平地域の情報通信基盤整備の推進 整備方法等の検討及び調整 情報通信基盤の整備		上半期に設置 年度末までに3回程の開催 必要に応じて実施 年度末まで 地上デジタル放送化までに	
重点目標 魅力ある菅平高原の再構築（ブランド形成に向けて）			
具体的な重点取り組み項目（箇条書き）		期限・数値目標等	
(1)菅平高原の魅力をもつグランドデザインの検討 魅力ある『菅平高原』ブランドの形成に必要な機能等（菅平高原自然館のあり方を含む）についての方向付けを図る (2)真田の郷・菅平高原PR用パンフレットの発行 PR用パンフレット・ポスターの作成		今年度中 11月までに作成	
重点目標 身近な生涯学習の推進			
具体的な重点取り組み項目（箇条書き）		期限・数値目標等	
・地域の生涯学習を推進するための拠点施設として図書館の整備を進める 図書館整備の具体化に向けた検討 （仮称）図書館建設運営研究会の設置 図書館整備に係る基本計画の策定		7月を目途 7月を目途 年内を目途に策定	
重点目標 生活に密着した市道整備の促進			
具体的な重点取り組み項目（箇条書き）		期限・数値目標等	
地域づくり委員会等からの要望事業について、箇所ごとに現地調査を行い、緊急性・公平性を考慮して施工箇所を決定し実施 辺地総合整備計画に基づく市道整備 自治会からの要望により、原材料・凍結防止剤の支給・小型除雪機購入補助		9月までに予算額の60%以上を発注 3路線の事業実施 速やかな対応を図る	

市長指示事項
・菅平地区への情報通信基盤整備については、観光地でもあることから、早急に方策を検討するとともに、2011年の地上デジタル放送開始までに整備の目処を付けること。 ・菅平高原自然館の検討に当たっては、単に施設の移転改築にならないよう、必要性、内容等を十分に検討して決定すること。

図書館施設整備に係る地域協議会協議経過

協議会	協 議 内 容 等
平成 19年度 第 1 回協議会 H19.5.31	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市社会教育委員へ諮問した上田市図書館基本構想について5月25日に中間報告があったことにより、真田地域教育事務所長より中間報告の内容説明がある。 ・ 地域の重要案件として、次回から図書館問題に絞って議論していくことを確認する。
第 2 回協議会 H19.6.26 第 3 回協議会 H19.7.18 第 4 回協議会 H19.8.9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設場所・規模等について議論した。 ・ 協議会で確認されたこと。 図書館建設については、当時の町長の公約であり、議会において図書館を建設するための建設基金が設置され、また、町民による検討も行なわれており、新市建設計画に引き継がれていることから、建設することを前提に協議を行なう。 旧真田町当時検討された図書館基本計画については参考とし、現状をしっかりと見据える中で、真田地域にあった規模の図書館を建設する。 真田図書館の特色は、児童図書館的機能を大事にすること。また、真田氏関係や平塚らいてう関係の女性史に係る書籍の充実を図る。 建設場所については、新たな場所への建設と地域自治センターの活用について議論され、最終的に運動公園周辺に建設することで意見の統一が図られる。
第 5 回協議会 H19.9.25	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「真田地域における図書館施設整備に関する意見書」を市長に提出することについて、全委員承認により決定した。 <p><意見書内容></p> <p style="padding-left: 20px;">早期の図書館建設 真田公民館に隣接した真田運動公園周辺での建設 6万冊の蔵書と児童図書の実、真田地域の特色や個性が反映された図書館整備 (意見書は10月1日付で市長に提出)</p>
H19.12.11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市長から協議会長あてに、意見書に対する回答書が届く。 <p><回答書内容></p> <p>整備場所について、真田地域自治センターの有効活用、中学生の図書館利用、また図書館の利用者増などの観点から、地域自治センター1階を活用した図書館の整備について再度御検討いただきますようお願い申し上げます。</p>
第 9 回協議会 H20.1.31	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会長から、市からの回答書の内容について説明。 ・ H19.12.14に会長と副会長が副市長と面談し、会長がその概要をまとめた「真田地域図書館施設整備について石黒副市長との面談概要」報告書を説明。 <p><副市長から></p> <p>市長と一緒に現地視察したところ「ころっとした所」(運動公園周辺の市有地)よりも「人が集まる場所」が適当であるとのこと。 地域自治センターの1階がすばらしい構成になっているので、図書館として適当との認識をもった。 中学生が親の迎えを待っていたことから、こちらが良いと感じた。 「人が集まる場所」という観点であれば、消防署の前付近が適地なのではとおっしゃっていた。 改めて地域自治センター1階を有効活用する案で再度検討をお願いしたい。 会長・副会長から副市長に、地域自治センター活用方法について、センター庁舎は耐震性も高く、行政として利用したらどうか、地域住民の納得できるセンターの利用構想が先ではないか。また、再度協議会で議論するならば、市からもっと具体的な構想を提示して欲しいとお願いしてきた。 ・ 市側から、市としての回答の内容、具体的な地域自治センター1階利用案について説明(図面提示)。 </p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協議会では、回答書のセンター 1 階案について論議された。その中で、センターが図書館に付属する施設になってしまう、住民が納得しないのではないか、市が再検討を求めるのは、地域協議会軽視ではないかといった意見が出された。
第 10 回協議会 H20221	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市からの回答について良いか悪いか、悪ければどこが悪いのかなど、そんな視点で議論を進めていく。 ・ 委員から、地域自治センター 1 階を図書館にすることについて、センターは本来の姿で使用すべきであるなど反対という意見が多い。副市長の言う「人が集まる場所」ということであれば、人の集まる場所を提案したらどうか。中学生が寄りやすいとすれば、センターの横でも良いといった意見が出された。また、地域住民の皆さんに納得してもらえるかということは大切な問題であるという意見が出た。 ・ 各種団体の意見聴取をし、協議会で参考にしていきたい。
H20312	真田地域における図書館整備に係る経過説明と意見公聴
第 11 回協議会 H20326	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市側から 3 月 12 日の「真田地域における図書館整備に係る経過説明と意見公聴」の内容について報告がある。 <p>< 概要 ></p> <p>15 団体中 13 団体から 22 名出席</p> <p>旧真田町当時の経過説明、上田市図書館基本構想答申書の概要説明</p> <p>協議会からの意見書、市からの回答及びセンター 1 階を利用した計画案説明</p> <p>出席者からはセンター 1 階を利用した図書館整備については、全体的に望ましくないという意見が多かった。(主な意見・・・センターは地域住民の拠り所。センターの活用方法は他にもあり、もっと皆で検討必要。図書館はセンター周辺(シルバー人材センターの場所)を利用できないか等。)</p> <p>団体内の意見とりまとめをし、再度 4 月下旬に意見公聴を行なうこととなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協議会としては、各種団体の意見を踏まえ、早期に結論を出す必要がある。次期の協議会に引き継いでいく。 ・ 委員から、図書館整備について反対する委員はおらず、副市長との話を踏まえ、協議会としての議論を深めていったらどうかという意見が出る。
平成 20 年度 第 1 回協議会 終了後 H2047	委嘱 1 期目の委員に、事務局から図書館施設の整備に関する検討経過について説明を行なった。
H20425	真田地域における図書館整備に係る意見公聴
第 2 回協議会 H20514	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 月 25 日の各種団体の意見公聴について、意見を集約した資料をもとに説明。 <p>< 概要 ></p> <p>15 団体中 13 団体出席(欠席団体も後日文書で意見を提出)</p> <p>地域自治センター 1 階案には、身障者、高齢者のセンター機能利用が困難になるなど、反対意見が多かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会長から 次回の協議会で審議する際、以下の共通認識を持って議論を進めたい。 <p>市からのセンター 1 階案に対し、協議会として明確な回答を出さなければならない。どんな図書館にするかという問題については、建設場所が決まってから話し合いたい。協議が堂々巡りのないよう、まずはセンター 1 階を図書館にするという案に絞って議論していきたい。</p> <p>図書館をつくることは決まっているが、現実を見つめた上で協議していかなければいけない。</p>

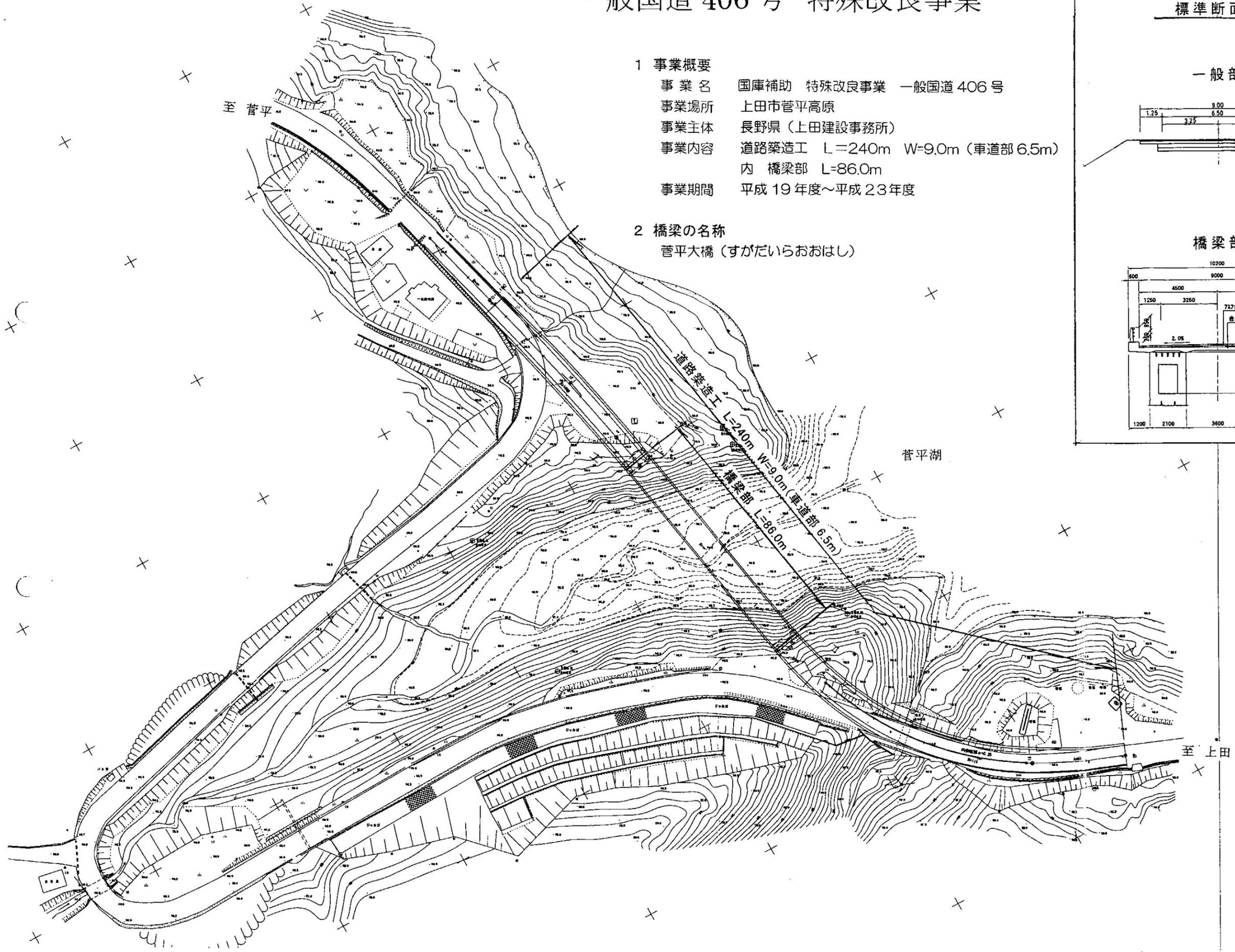
一般国道 406 号 特殊改良事業

1 事業概要

事業名 国庫補助 特殊改良事業 一般国道 406 号
 事業場所 上田市菅平高原
 事業主体 長野県 (上田建設事務所)
 事業内容 道路築造工 L=240m W=9.0m (車道部 6.5m)
 内 橋梁部 L=86.0m
 事業期間 平成 19 年度~平成 23 年度

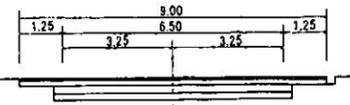
2 橋梁の名称

菅平大橋 (すがだいらおおはし)



標準断面図

一般部



橋梁部

